☎水道のご用は
業務課 (0798) 32－2210
鳴尾出張所 (0798) 47－4081
北部出張所 (0797) 61－1703
維持課 (0798) 32－2222
北部水道事業所 (078) 904－2481

みんなの水道

平成13年(2001年) 12月10日 ＜第37号＞
編集・発行
〒662-0911 西宮市池田町8番11号
西宮市水道局総務部庶務課
☎(0798)32-2201 FAX(0798)32-2278
ホームページアドレス http://www.nishi.or.jp/~suidou

安定供給のため 経営基盤の強化を目指して 平成12年度水道事業会計決算の状況

平成12年度水道事業会計決算が9月定例市議会において認定されました。また、平成10年度から平成12年度までを計画期間とする前財政計画が平成12年度に終了いたしました。今回は、この決算の概要及び財政計画と実績の比較などについて報告いたします。

問合わせは経営管理課（0798・32・2204）へ。

決算の概要

平成11年度に比べ1戸当たりの使用水量は減少傾向にあるものの、給水戸数、給水人口の伸びにより給水量が増加しました。

それに伴い収入において、給水収益が増加したことや、新しく水道を申し込まれたり口径を大きくした時にメーターの口径に応じていただく分担金収入が増加したこと等により、1億1000万円の増収となりました。

また、支出においては、職員数の削減等による人件費の減、事業費の抑制に努めたことによる物件費の節減、水道の施設をつくるために借り入れたお金（企業債）の償還年数の経過と借入利率の低下による支払利息の減少等により2億4000万円節減できました。

その結果、平成12年度の決算は、水道料金収入等の収益的収入総額114億3800万円に対し、水道料金収入等をもって充てる経費の収益的支出総額は106億6900万円となりました。

収支差引では7億6900万円の純利益となり、前年度の純利益4億1900万円に比べ3億5000万円好転しました。

前年度との比較

これらについて各項目ごとに前年度と比較しますと次のとおりです。

《収入》

＊水道料金収入は給水戸数、給水人口の伸びにより、前年度の料金収入96億7900万円に対し、4100万円増の97億2000万円となりました。

＊分担金は、マンション建設の増加により6600万円増の9億3300万円となりました。

＊その他は受託工事収益、受取利息、他会計補助金等ですが、400万円増の7億8500万円となりました。

《支出》

＊水道水をつくり各家庭に送るための経費や水道メーターの検針、料金を収納するための費用は、2億1300万円減少し、43億3800万円となりました。

＊阪神水道企業団や兵庫県営水道から水道水を買うための費用は、1300万円増えて31億600万円となりました。

＊水道施設の寿命の年数に応じて1年ずつその価値が減少する分を費用化した減価償却費等は、1200万円増えて19億7100万円となりました。

＊企業債の利息である企業債償還利息は、5200万円減少し12億5400万円となりました。

財政計画との比較

財政計画では、3カ年の水道料金等の総収入を362億2800万円と見込んでいましたが、実績では343億3000万円にとどまり、18億9800万円の収入減となりました。

一方これに対し、水道水をつくったり、各家庭に送る水道施設を維持管理するための経費の総支出は、財政計画では353億3000万円を予定していましたが、実績は326億5800万円で差引26億7200万円の支出減となりました。

この結果3カ年の収支差引は、財政計画で予定していました8億9800万円を上回る16億7200万円となり、7億7400万円好転し、平成12年度末の累積黒字は9億9700万円となりました。

財政計画と実績に大きな差が生じた要因として、長引く景気の低迷、節水意識の浸透、節水型器具の普及などにより、主な収入である水道料金収入が計画よりも減収となりましたが、計画を上回る職員数を減らしたことによる人件費の削減、高利率の借入金(企業債)を繰上償還したこと、借入利率の低下等により支出においても計画より大幅な減となったことが挙げられます。

今後も効率的な事業運営を

平成12年度末で9億9700万円の累積黒字となりましたが、このうち3億3900万円を企業債の元金償還や老朽化してきている水道施設を新しくするための建設改良事業の財源として積立金へ回し、6億5800万円を翌年度へ繰り越しました。

平成13年度からは阪神水道企業団の水道水の値上げ（12・1％増）による水購入費の増加、古くなった水道施設の更新、施設の耐震化事業などに多額の費用を要するなど水道局をとりまく経営環境は厳しい状況です。

水道局ではこのような現状を十分認識し、引き続き「事務事業の見直しによる人件費の抑制」「効率的な事業運営」「安全な水の安定供給」を目指し、経営基盤の強化を図るとともに、より一層の市民サービスの向上に努めてまいります。

平成12年度実施の主な事業

水道局では平成12年度に次の事業を実施しました。

＊浄水施設等整備事業

鯨池浄水場沈でん池排泥設備改良事業、鯨池浄水場脱水機設備（薬注式）改修工事、鯨池浄水場浅井戸1号ポンプ操作盤他改修工事、鳴尾浄水場次亜塩素酸ソーダ貯留槽他改良工事、鳴尾所管内現場操作盤改良工事、丸山浄水場中央監視設備改良工事等を施工しました。

＊配水施設等整備事業

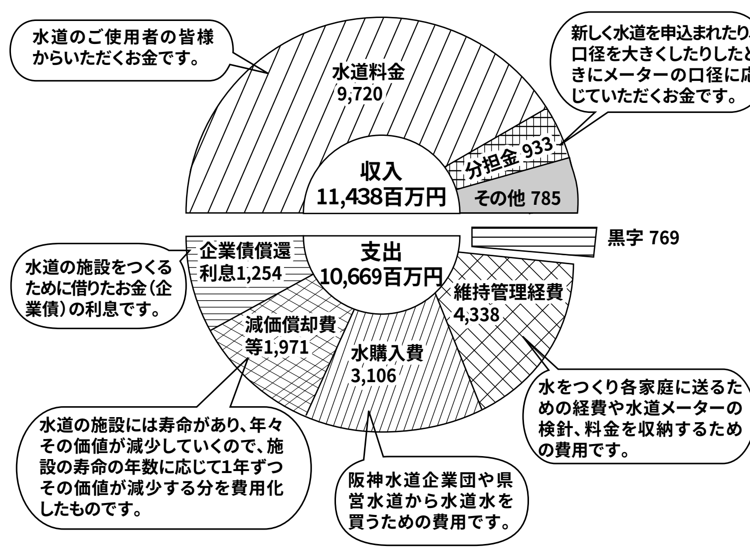
越水浄水場阪水直送配水弁設置工事、苦楽園中区配水池緊急遮断弁設置工事（その1）、苦楽園中区配水池緊急遮断弁設置工事（その2）、鯨池浄水場800㎜送水管布設工事、鳴尾浄水場配水ポンプ増改良工事、受配水集中検針用サブセンサー増改良工事、甲陵中学校緊急貯水槽設置工事、グリーンハイツ第一配水槽ポンプ制御盤等改修工事等を施工しました。

＊配水管整備事業

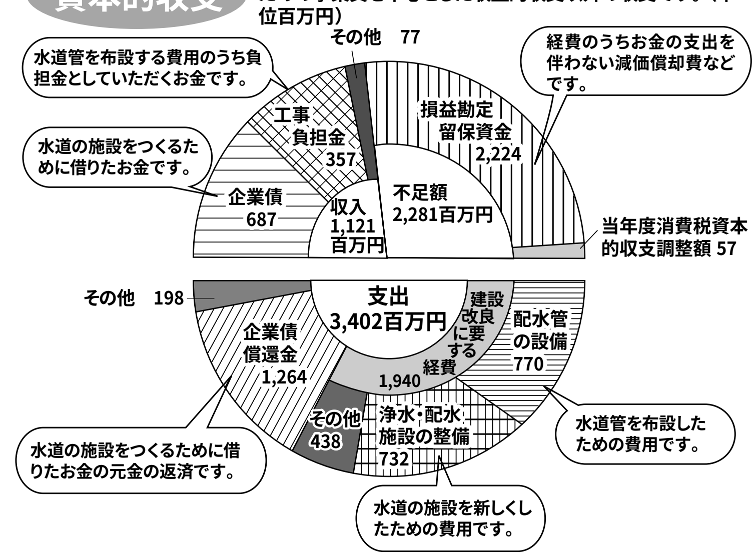
市内各所で1万3871.7mの配水管布設及び布設替えを施工しました。

平成12年度決算の状況

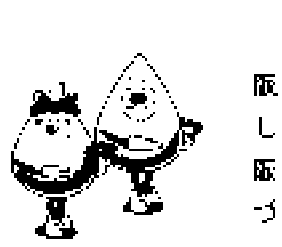
収益的収支 水道料金を主な収入とし、水道水をつくったり各家庭に送る施設を維持管理するために必要な経費を中心とした営業活動の収支です。（単位百万円）



資本的収支 老朽化した水道施設を整備したり新たに水道施設をつくるための事業費を中心とした収益的収支以外の収支です。（単位百万円）



あなたの暮らしに、信頼の水



阪神水道企業団は、琵琶湖・淀川を水源として、神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市の4市に水道用水を供給しています。西宮市民のみなさまがお使いになる水の約60％が、阪神水道企業団でつくられた水なのです。
阪神水道企業団では、震災の教訓を生かした耐震化施設の整備を図り、「地震に強い安定した用水供給システム」づくりに努力しています。より安全でおいしい水を絶え間なくお届けすることが、阪神水道企業団の使命です。

マスコットキャラクター
市民のみなさまの浄水場見学もできます。詳しくは右記までお問い合わせください。

阪神水道企業団 〒658-0073 神戸市東灘区西岡本3丁目20－1
TEL(078)431-4351（代表） FAX(078)431-2064
ホームページURL http://www.hansui.or.jp/